

## 6 計画の体系

基本目標	施策	施策の方向
1 男女共同参画の意識づくり	(1) 男女共同参画についての意識啓発	1 男女共同参画に関する啓発の推進
	(2) 教育における男女共同参画の推進	2 男女平等やジェンダーの視点に立った教育・保育の推進
		3 講演会や学習の機会を通じた、社会教育における男女共同参画の推進
	(3) 情報発信における人権の尊重	4 男女共同参画を推進するための表現の浸透
	(4) 国際社会の取り組みとの同調	5 国際社会の動向を踏まえた取り組みの推進
2 男女がともに助け合う家庭生活の推進	(1) 男女がともに家庭責任を担える人づくり・環境づくりの推進	6 家庭における固定的な性別役割分担意識の是正
		7 男女が協働して家事・育児・介護に参画するための学習機会の提供や啓発の推進
	(2) 子育てがしやすい社会環境の整備	8 保育サービスや放課後児童対策などの子育て支援の充実
	(3) 介護を支える社会環境の整備	9 高齢者福祉施策の推進
3 男女がともに担う地域社会づくりの促進	(1) 政策・方針決定過程への男女共同参画の促進	10 行政における政策決定過程への男女共同参画の促進
		11 団体等における方針決定過程への男女共同参画の促進
	(2) 地域活動への男女共同参画の促進	12 地域における固定的な性別役割分担意識解消に向けた啓発の推進
		13 地域活動における男女共同参画の促進及び支援の推進
		14 防災・減災活動やまちづくりなどの、新たな分野における男女共同参画の推進



## 第3章 計画の内容

5つの基本目標に沿って体系化した施策では、策定にあたって実施した以下の調査や近年の社会情勢等を踏まえ「現状と課題」を明らかにした上で、庁内各課が取り組む「施策の方向と内容」を掲げています。

### 【計画策定にあたって実施した調査の概要】

#### □ 韮崎市男女共同参画に関する市民アンケート調査

対 象	韮崎市内の20歳以上の男女2,000人を無作為に抽出
調査期間	平成24年2月15日～3月14日
回答状況	679件（回収率34.0%）

#### □ 調査項目

- ・ 回答者の属性
- ・ 夫は外で働き、妻は家庭を守るという考えについて
- ・ 男性が家事・育児を行うことについて
- ・ 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という育て方について
- ・ 家庭生活と仕事の両立に必要なことについて
- ・ 未成年の子どもとの1日の対話時間について
- ・ 子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思うか
- ・ 子どもにどのようになってほしいと思うか
- ・ 子育てにおいて父親と母親の役割は同じであると思うか
- ・ 一般的に最近の子どもに「しつけ」をどのように感じているか
- ・ 一般的に母親が外で働くことで、子どもに与える影響について
- ・ 安心して子どもを産み育てるために必要なことは
- ・ 地域における活動は男女協働になっているか
- ・ 地域で男女共同参画を進めるために必要なことは
- ・ 市や地区から役員等を依頼された場合、受けるか
- ・ 育児休業制度の取得について
- ・ 職場における育児休業制度の取得傾向
- ・ ワーク・ライフ・バランスの周知度
- ・ 家庭生活または地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つきあい等）と仕事との関係で、男性・女性の望ましい関わり方について
- ・ 職場内の男女格差についてどう感じているか
- ・ 働く（働いた）理由について
- ・ 子育てと仕事の両立で苦労した点・苦労している点について
- ・ 職場におけるセクシャル・ハラスメントについて
- ・ 男女共同参画社会の理想とするイメージについて
- ・ 今の生活に不安や悩み事はあるか
- ・ 社会において人権が尊重されていないと感じることは

基本目標  
1

## 男女共同参画の意識づくり

## (1) 男女共同参画についての意識啓発

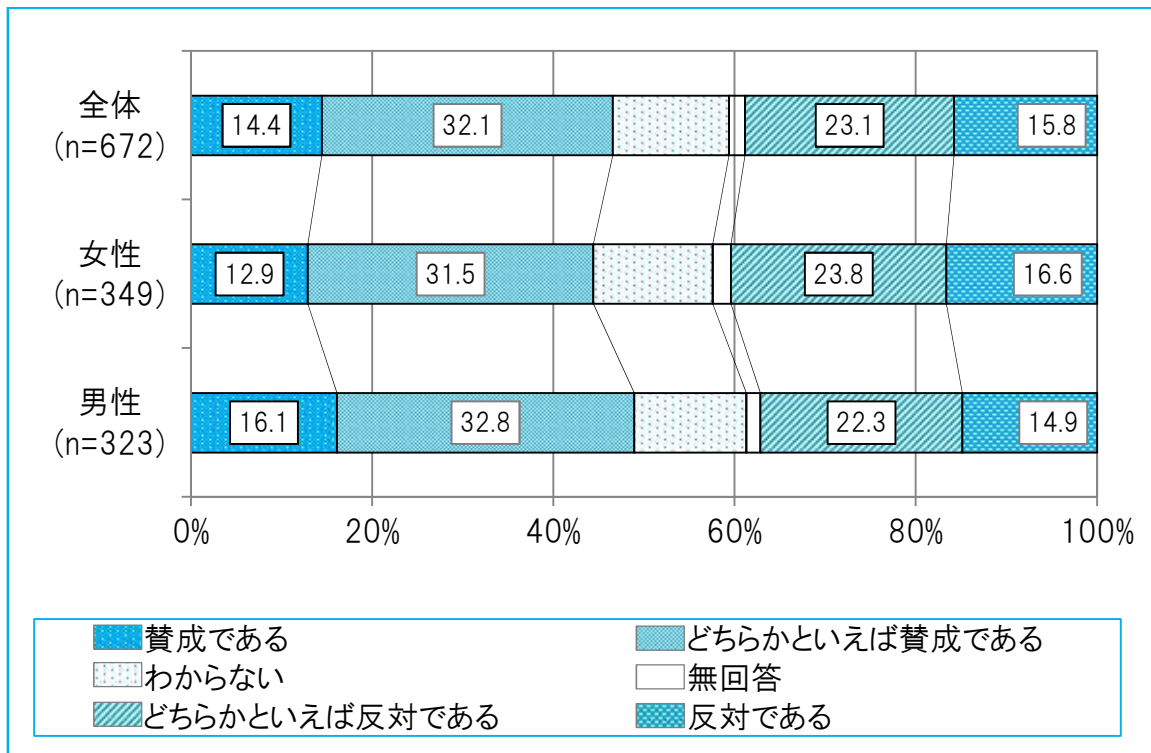
## 現状と課題

男女共同参画を推進していくにあたり、一人ひとりの意識を育むことは最も大切です。

市民アンケート調査によると「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方についての『賛成』（「賛成」、「どちらかといえば賛成」の合計）の割合は、『反対』（「反対」、「どちらかといえば反対」の合計）の割合を上回っており、特に女性に比べ男性の『賛成』の割合は高くなっています。また、県調査と比較しても本市における『賛成』の割合は男女ともに県より高くなっています。

韮崎市においても、依然として固定的な性別役割分担意識が残っていることがうかがえ、今後も引き続き市民の身近な問題として、意識づけが行えるよう、広報やホームページなどによる啓発や、家庭・地域・職場・学校などでの意識啓発に取り組むことが必要です。

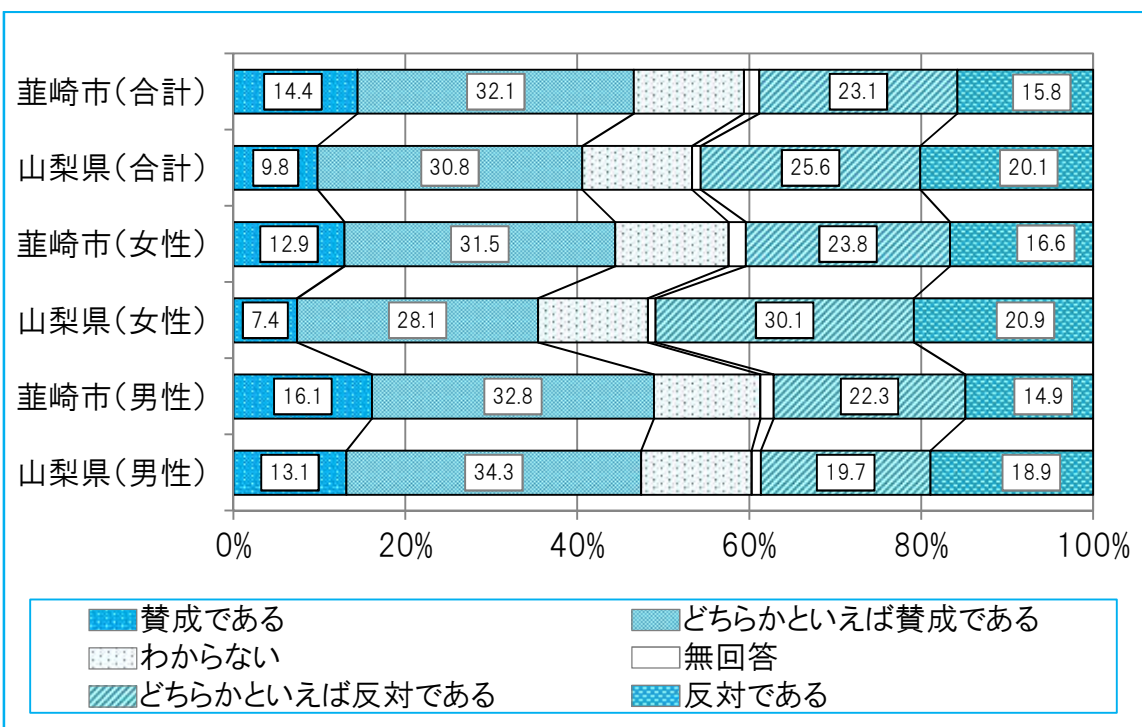
## ■ 夫は外で働き、妻は家庭を守るという考えについて



資料：韮崎市男女共同参画に関する市民アンケート調査（平成23年度）

### 第3章 計画の内容

#### ■ 夫は外で働き、妻は家庭を守るという考えについて（県調査との比較）



資料：韮崎市男女共同参画に関する市民アンケート調査（平成23年度）

#### 施策の方向と内容

No.	施策の方向	施策の内容	担当課
1	男女共同参画に関する啓発の推進	<p>広報紙や啓発冊子、条例の周知等を通じて社会通念・慣行・しきたり等を見直すきっかけとなるような広報・啓発を行います。</p> <p>男女共同参画フォーラムを開催し、男女共同参画への理解促進を図ります。</p> <p>地域で開催されるイベント等を通じ、男女共同参画の啓発活動を行います。</p>	企画財政課



男女共同参画フォーラム

## (2) 教育における男女共同参画の推進

### 現状と課題

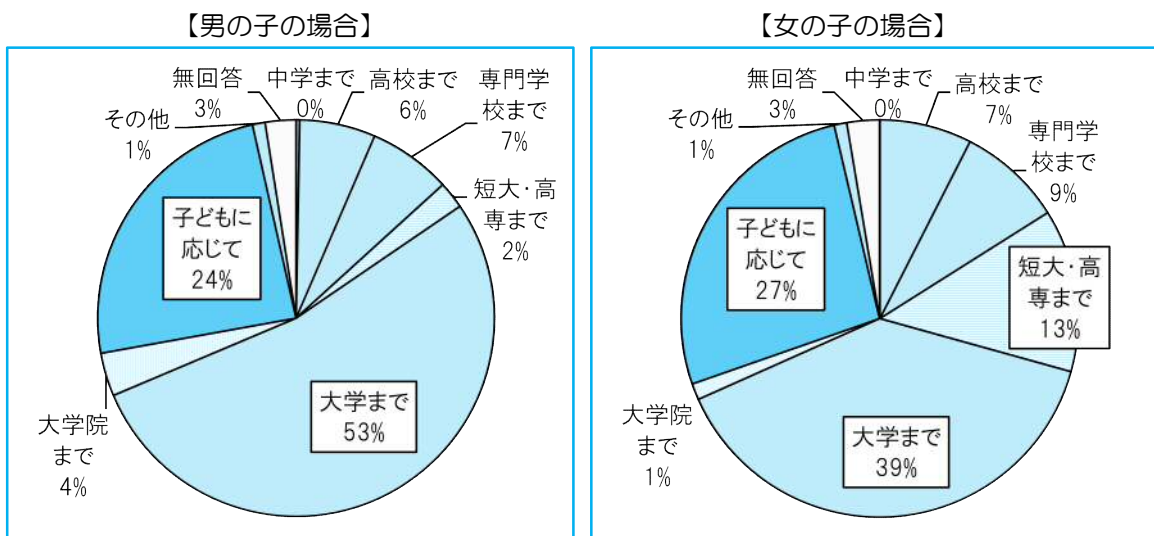
学校や地域における教育、学習活動は、男女共同参画社会を形成する上で重要な役割を担っています。また、次世代を担う子どもたちが、社会の変化に対応するためには、固定的な性別役割分担意識にとらわれず、児童・生徒の個性を伸ばす教育を進め、就学前や学校教育において男女共同参画の意識を形成することが重要です。

市民アンケート調査によると「子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思うか」という意識について、男の子の場合、「大学まで」が53%に対し、女の子の場合は39%と、女の子より男の子に高学歴を望む意見が多い結果となっています。

学校教育においては性別にかかわらず、それぞれが能力を発揮できるような指導や、子どもたち自身の男女平等意識を育む教育を推進していくことが求められます。

また、最近では生きがいや心の豊かさを重視する生き方を求める人が多くなっており、生涯にわたってさまざまな学習機会が確保されることが必要となっています。性別にとらわれず誰でも参加できる学習機会を提供し、社会教育における男女共同参画の推進を図ることも重要です。

### ■ 子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思うか



資料：韮崎市男女共同参画に関する市民アンケート調査（平成23年度）

### 施策の方向と内容

No.	施策の方向	施策の内容	担当課
2	男女平等やジェンダー※3の視点に立った教育・保育の推進	固定的な性別役割分担意識の見直しと、一人ひとりの個性と能力が発揮でき、多様な生き方ができるような意識づけをめざした教育・保育の充実を図ります。	教育課 福祉課
		児童・生徒の一人ひとりが主体的に多様な選択ができるよう、児童・生徒の体験や活動を支援し、男女平等の意識や職業に対する正しい知識と理解の浸透を図ります。	教育課
3	講演会や学習の機会を通じた、社会教育における男女共同参画の推進	さまざまな世代が参加できる講座等を開催し、社会教育における男女共同参画を推進します。	企画財政課 教育課

## (3) 情報発信における人権の尊重

### 現状と課題

人々の意識や慣行が形成される上で、メディアの果たす役割は大きくなっています。情報網の進展によりメディアによってもたらされる情報が社会に大きな影響を与え、男女共同参画意識の浸透に向けては、固定的な性別役割分担にとらわれた表現に十分な配慮を払うことが求められます。

市、市民、事業者等が情報発信する場合は、いずれかの性を優先したり、性別による固定的な観念にとらわれた表現やイラストを掲載したりしていないか点検し、男女共同参画を推進する内容となるよう表現の浸透を進めることが必要です。

### 施策の方向と内容

No.	施策の方向	施策の内容	担当課
4	男女共同参画を推進するための表現の浸透	市が発行する広報紙や印刷物、HP等において、性差別につながる表現がないか点検し、不適切なものについては是正します。	関係各課

※3 ジェンダー：生まれつきの生物学的敵性別（セックス/SEX）に対して、社会通念の慣習の中では、社会によってつくりあげられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「ジェンダー」/gender（社会的性別）」という。「ジェンダーの視点」とは「ジェンダー」が性差別、性別による固定的役割分担、偏見等につながっている場合もあり、これらが社会的につくられたものであることを意識していこうという視点。

## (4) 国際社会の取り組みとの同調

### 現状と課題



男女共同参画社会の実現は、昭和50年（1975年）の「国際婦人年」以降、世界の共通課題となっています。政治、経済、文化など社会のさまざまな分野で国際化が進んでいる中、男女共同参画の取り組みは国際的な動きと連動し、影響を受けながら進んでいることから、国際社会の動向について理解を深め、関心を高めていくことが大切です。

蕪崎市においても、男女共同参画社会の形成に向け、国際社会の動向や取り組みなどの情報収集・提供を進めていくことが必要です。

### 施策の方向と内容

No.	施策の方向	施策の内容	担当課
5	国際社会の動向を踏まえた取り組みの推進	男女共同参画に関する国際社会における取り組みの動向、成果等の情報を収集し、啓発します。 男女共同参画に関する国際社会の動向を踏まえた取り組みの推進に努めます。	企画財政課

### 数値目標 男女共同参画の意識づくり

項目	現状 (H23年度)		目標値 (H34年度)
蕪崎市男女共同参画推進条例の浸透	—		50.0%
「男は仕事、女は家庭」と考える市民の割合	46.5%◇		35.0%

◇印は蕪崎市男女共同参画に関する市民アンケート調査（平成23年度）より